

大学番号：私091

注3

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

認可

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 看護学科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大東文化学園

平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学務部

職名・氏名 ガクムフチョウ 学務部長 ・ ミノフ 箕輪 ミカ 美佳

電話番号 03-5399-7333

（夜間） 03-3935-1110

F A X 03-5399-7334

e-mail [gakumu@jm.daito.ac.jp](mailto:gakumu@jm.daito.ac.jp)

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

スポーツ・健康科学部

<看護学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 大東文化学園

## (2) 大学名 大東文化大学

## (3) 大学の位置

〒355-8501 埼玉県東松山市岩殿560  
(本部：〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	オオハシ ヒドイツ 大橋英五 (平成27年6月30日)		
学長	カドワキ ヒロフミ 門脇廣文 (平成29年4月1日)		
学部長	カツマタ ヒロム 勝又宏 (平成29年4月1日)		
学科長等	スギモリ ヒロキ 杉森裕樹 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
スポーツ・健康科学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4年	100人	一年次 一人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成30年度 春季入学	平成30年度 その他の学期		
A 入学定員	100人 100 (0) [0]	0人	1.1倍	
志願者数	653 (0) [0]	0 (0) [0]		
受験者数	600 (0) [0]	0 (0) [0]		
合格者数	188 (0) [0]	0 (0) [0]		
B 入学者数	110 (0) [0]	0 (0) [0]		
入学定員超過率 B/A	1.1			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		備考
	春季入学	その他の学期	
1年次	110 [ 0 ] ( 0 )	— [ — ] ( — )	
2年次	/		
3年次	/		
4年次	/		
計	110 [ 0 ] 0		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	110人	0人	平成30年度	0人	0人	
合計	110人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{110} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<スポーツ・健康科学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基本スキル科目	基礎ゼミナール	1通	2			7	6	7	7	14		
	大学入門	1前	1			3	5	7	7	14		
	情報処理	1前	1			1						
	人間関係論	1前		1							兼1	
	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ	1前	1					1			兼2
		英語コミュニケーションⅡ	1後	1					1			兼2
		英語コミュニケーションⅢ	2前	1					1			兼2
		英語コミュニケーションⅣ	2後	1					1			兼2
		医療英語	2前		1				1			
		英語ゼミナール	4前		1				1			
	第二外国語	中国語A	1・2前		1							兼1
		中国語B	1・2後		1							兼1
		コリア語A	1・2前		1							兼1
		コリア語B	1・2後		1							兼1
		フランス語A	1・2前		1							兼1
		フランス語B	1・2後		1							兼1
ドイツ語A		1・2前		1							兼1	
ドイツ語B		1・2後		1							兼1	
総合基礎科目	A系	哲学A	1-2-3-4前・後	2								兼2
		哲学B	1-2-3-4前・後	2								兼2
		文学A	1-2-3-4前・後	2								兼2
		文学B	1-2-3-4前・後	2								兼2
		論理学A	1-2-3-4前・後	2								兼1
		論理学B	1-2-3-4前・後	2								兼1
		倫理学A	1-2-3-4前・後	2								兼2
		倫理学B	1-2-3-4前・後	2								兼2
		宗教学A	1-2-3-4前・後	2								兼1
		宗教学B	1-2-3-4前・後	2								兼1
	B系	歴史学A	1-2-3-4前・後	2								兼3
		歴史学B	1-2-3-4前・後	2								兼3
		考古学A	1-2-3-4前・後	2								兼1
		考古学B	1-2-3-4前・後	2								兼1
		文化史A	1-2-3-4前・後	2								兼1
		文化史B	1-2-3-4前・後	2								兼1
		芸術学A	1-2-3-4前・後	2								兼4
		芸術学B	1-2-3-4前・後	2								兼4
		地理学A	1-2-3-4前・後	2								兼2
		地理学B	1-2-3-4前・後	2								兼2
言語学A	1-2-3-4前・後	2								兼2		
言語学B	1-2-3-4前・後	2								兼2		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基本スキル科目	基礎ゼミナール	1通	2			7	6	7	7	14		
	大学入門	1前	1			3	5	7	7	14		
	情報処理	1前	1			1						
	人間関係論	1前		1							兼1	
	第一外国語	英語コミュニケーションⅠ	1前	1					1			兼2
		英語コミュニケーションⅡ	1後	1					1			兼2
		英語コミュニケーションⅢ	2前	1					1			兼2
		英語コミュニケーションⅣ	2後	1					1			兼2
		医療英語	2前		1				1			
		英語ゼミナール	4前		1				1			
	第二外国語	中国語A	1・2前		1							兼1
		中国語B	1・2後		1							兼1
		コリア語A	1・2前		1							兼1
		コリア語B	1・2後		1							兼1
		フランス語A	1・2前		1							兼1
		フランス語B	1・2後		1							兼1
ドイツ語A		1・2前		1							兼1	
ドイツ語B		1・2後		1							兼1	
総合基礎科目	A系	哲学A	1-2-3-4前・後	2								兼2
		哲学B	1-2-3-4前・後	2								兼2
		文学A	1-2-3-4前・後	2								兼2
		文学B	1-2-3-4前・後	2								兼2
		論理学A	1-2-3-4前・後	2								兼1
		論理学B	1-2-3-4前・後	2								兼1
		倫理学A	1-2-3-4前・後	2								兼2
		倫理学B	1-2-3-4前・後	2								兼2
		宗教学A	1-2-3-4前・後	2								兼1
		宗教学B	1-2-3-4前・後	2								兼1
	B系	歴史学A	1-2-3-4前・後	2								兼3
		歴史学B	1-2-3-4前・後	2								兼3
		考古学A	1-2-3-4前・後	2								兼1
		考古学B	1-2-3-4前・後	2								兼1
		文化史A	1-2-3-4前・後	2								兼1
		文化史B	1-2-3-4前・後	2								兼1
		芸術学A	1-2-3-4前・後	2								兼3
		芸術学B	1-2-3-4前・後	2								兼3
		地理学A	1-2-3-4前・後	2								兼2
		地理学B	1-2-3-4前・後	2								兼2
言語学A	1-2-3-4前・後	2								兼2		
言語学B	1-2-3-4前・後	2								兼2		

【認可時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎科目 全学共通科目 基本科目	法学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	法学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	社会学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	社会学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	政治学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	B系 政治学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	経済学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	経済学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	心理学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	心理学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	教育学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	教育学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	民俗学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	民俗学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	文化人類学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	文化人類学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	数学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	数学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	地学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	地学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
C系 生物学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼2	
生物学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼2	
生態学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼1	
生態学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼1	
現代科学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼3	
現代科学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼3	
情報科学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼2	
情報科学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼2	
自然科学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼1	
自然科学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎科目 全学共通科目 基本科目	法学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	法学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	社会学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	社会学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	政治学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	B系 政治学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	経済学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	経済学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	心理学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	心理学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	教育学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	教育学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼2
	民俗学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	民俗学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	文化人類学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	文化人類学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	数学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	数学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	地学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
	地学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼1
C系 生物学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼2	
生物学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼2	
生態学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼1	
生態学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼1	
現代科学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼3	
現代科学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼3	
情報科学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼2	
情報科学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼2	
自然科学A	1-2, 3-4 前・後	2								兼1	
自然科学B	1-2, 3-4 前・後	2								兼1	



【認可時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合基礎科目	D系 総合体育A	1前	1									兼5	
	健康とスポーツ 総合体育B	1後	1									兼5	
	健康スポーツ科学A	1-2・3-4 前後	2									兼4	
	健康スポーツ科学B	1-2・3-4 前後	2									兼4	
	体育実技A	2・3・4前	1									兼3	
	体育実技B	2・3・4後	1									兼3	
	野外実習A	1-2・3-4 前後	1									兼1	
	野外実習B	1-2・3-4 前後	1									兼1	
	第1群	地域・国家・民族の考察A	1-2・3-4 前後	2									兼2
		地域・国家・民族の考察B	1-2・3-4 前後	2									兼2
	第2群	女性・子ども・老人への視点A	1-2・3-4 前後	2									兼2
		女性・子ども・老人への視点B	1-2・3-4 前後	2									兼2
	第3群	人権・民主主義・平和を考えるA	1-2・3-4 前後	2									兼1
		人権・民主主義・平和を考えるB	1-2・3-4 前後	2									兼1
	第4群	現代社会の諸問題A	1-2・3-4 前後	2									兼2
		現代社会の諸問題B	1-2・3-4 前後	2									兼2
	第5群	異文化・世界にふれるA	1-2・3-4 前後	2									兼4
		異文化・世界にふれるB	1-2・3-4 前後	2									兼4
	第6群	自己・人間をみつめるA	1-2・3-4 前後	2									兼4
		自己・人間をみつめるB	1-2・3-4 前後	2									兼4
第7群	キャリアデザインA	1-2・3-4 前後	2									兼2	
	キャリアデザインB	1-2・3-4 前後	2									兼2	
第8群	全学共通特殊講義A	1-2・3-4 前後	2									兼2	
	全学共通特殊講義B	1-2・3-4 前後	2									兼2	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合基礎科目	D系 総合体育A	1前	1									兼5	
	健康とスポーツ 総合体育B	1後	1									兼5	
	健康スポーツ科学A	1-2・3-4 前後	2									兼4	
	健康スポーツ科学B	1-2・3-4 前後	2									兼4	
	体育実技A	2・3・4前	1									兼3	
	体育実技B	2・3・4後	1									兼3	
	野外実習A	1-2・3-4 前後	1									兼1	
	野外実習B	1-2・3-4 前後	1									兼1	
	第1群	地域・国家・民族の考察A	1-2・3-4 前後	2									兼2
		地域・国家・民族の考察B	1-2・3-4 前後	2									兼2
	第2群	女性・子ども・老人への視点A	1-2・3-4 前後	2									兼2
		女性・子ども・老人への視点B	1-2・3-4 前後	2									兼2
	第3群	人権・民主主義・平和を考えるA	1-2・3-4 前後	2									兼1
		人権・民主主義・平和を考えるB	1-2・3-4 前後	2									兼1
	第4群	現代社会の諸問題A	1-2・3-4 前後	2									兼2
		現代社会の諸問題B	1-2・3-4 前後	2									兼2
	第5群	異文化・世界にふれるA	1-2・3-4 前後	2									兼4
		異文化・世界にふれるB	1-2・3-4 前後	2									兼4
	第6群	自己・人間をみつめるA	1-2・3-4 前後	2									兼4
		自己・人間をみつめるB	1-2・3-4 前後	2									兼4
第7群	キャリアデザインA	1-2・3-4 前後	2									兼2	
	キャリアデザインB	1-2・3-4 前後	2									兼2	
第8群	全学共通特殊講義A	1-2・3-4 前後	2									兼2	
	全学共通特殊講義B	1-2・3-4 前後	2									兼2	

【認可時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人体の構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2								兼1
	人体の構造と機能Ⅱ	1後	2								兼1
	人間と栄養	1後	1								兼1
	微生物学	1後	1								兼1
	生化学	1後	1								兼1
	臨床心理学概論	2前	1								兼1
	発達心理学	2後	1								兼1
疾病と治療	疾病・治療学Ⅰ(急性期・総論/運動・感覚器)	2前	1								兼1
	疾病・治療学Ⅱ(急性期・臓器別疾患)	2後	1								兼1
	疾病・治療学Ⅲ(慢性期・総論/全身疾患)	2前	1			1					
	疾病・治療学Ⅳ(終末期・緩和医療)	3前	1				1				
	疾病・治療学Ⅴ(小児・性と生殖医療)	2後	1								兼1
	疾病・治療学Ⅵ(精神医療)	3前	1				1				
	病態論	1後	1				1				
	薬理学	2後	1								兼1
	救急救命Ⅰ	1前	1								兼1
	救急救命Ⅱ	2前	1								兼1
	スポーツ医学概論	4前	1								兼1
	東洋医学概論(漢方)	3前	1				2				
	臨床検査学概論	2前	1								兼1
地域社会と医療福祉	郷土論(埼玉学)	1前	1								兼1
	公衆衛生学	1後	1			1					
	保健医療統計学	1後	1			1					
	医療情報学	1後	1			1					
	健康科学実践	2前	1								兼5
	保健医療福祉制度論	2前	1								兼1
	社会福祉学	2後	1								兼1
	生命倫理学	2前	1								兼1
チーム医療論	2前	1			2	1	1			兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人体の構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2								兼1
	人体の構造と機能Ⅱ	1後	2								兼1
	人間と栄養	1後	1								兼1
	微生物学	1後	1								兼1
	生化学	1後	1								兼1
	臨床心理学概論	2前	1								兼1
	発達心理学	2後	1								兼1
疾病と治療	疾病・治療学Ⅰ(急性期・総論/運動・感覚器)	2前	1								兼1
	疾病・治療学Ⅱ(急性期・臓器別疾患)	2後	1								兼1
	疾病・治療学Ⅲ(慢性期・総論/全身疾患)	2前	1				1				
	疾病・治療学Ⅳ(終末期・緩和医療)	3前	1					1			
	疾病・治療学Ⅴ(小児・性と生殖医療)	2後	1								兼1
	疾病・治療学Ⅵ(精神医療)	3前	1					1			
	病態論	1後	1					1			
	薬理学	2後	1								兼1
	救急救命Ⅰ	1前	1								兼1
	救急救命Ⅱ	2前	1								兼1
	スポーツ医学概論	4前	1								兼1
	東洋医学概論(漢方)	3前	1					2			
	臨床検査学概論	2前	1								兼1
地域社会と医療福祉	郷土論(埼玉学)	1前	1								兼1
	公衆衛生学	1後	1			1					
	保健医療統計学	1後	1			1					
	医療情報学	1後	1			1					
	健康科学実践	2前	1								兼5
	保健医療福祉制度論	2前	1								兼1
	社会福祉学	2後	1								兼1
	生命倫理学	2前	1								兼1
チーム医療論	2前	1			2	1	1			兼1	

【認可時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
看護の基礎	基礎看護学概論	1前	1			1								
	生活支援技術論Ⅰ	1後	1			1	1	1	2	3				
	生活支援技術論Ⅱ	1後	1			1	1	1	2	3				
	医療支援技術論Ⅰ	2前	1			1	1	1	2	3				
	医療支援技術論Ⅱ	2後	1			1	1	1	2	3				
	看護方法論	1後	1			2	1	1	2	3				
	看護理論	1前	1			1								
	看護倫理	2後	1			1								
	看護コミュニケーション論	2前	1			3	5	7	7	14				
	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1			2	1	1	2	3				
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			2	1	1	4	5				
	看護の実践Ⅰ（理論と方法）	成人看護学概論	2前	1			1							
		成人看護学方法論Ⅰ（急性期）	2後	1				1		1				
		成人看護学方法論Ⅱ（慢性期）	2後	1			1		1	1				
成人看護学演習		3前	1			1	1	1	2	3				
老年看護学概論		2前	1			1								
老年看護学方法論Ⅰ（医療支援看護）		2後	1			1	1							
老年看護学方法論Ⅱ（生活支援看護）		3前	1			1	1			2				
老年看護学演習		3前	1			1	1			2				
小児看護学概論		2前	1			1								
小児看護学方法論		2後	2				1	1						
小児看護学演習		3前	1			1	1			3				
母性看護学概論		2前	1			1								
母性看護学方法論		2後	2			1		1	1					
母性看護学演習		3前	1			1	1	1	1	3				
リプロダクティブヘルス看護学		2前	1			2	1							
精神看護学概論		2前	1			1	1							
精神看護学方法論		2後	2			1	1	1	1					
精神看護学演習		3前	1			1	1	1	1	1				
地域看護学概論		1後	1			1	1						兼1	
地域健康支援論		2前	1			1	1	1					兼1	
在宅看護学概論	2前	1			1	1								
在宅看護学方法論	2後	1			1	1	1	1						
在宅看護学演習	3前	1			1	1	1	1	2					
地域包括ケア概論	1後	1			2	1						兼1		
地域包括ケア方法論	3後	1			2	1	1		5			兼1		
地域包括ケア演習	4前	1			1	3	1		11			兼1		
看護の実践Ⅱ（臨地実習）	成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3後	3			1	1	2	1					
	成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	3後	3			1	1		2					
	老年看護学実習Ⅰ	2前	1			1	2	1	3	13				
	老年看護学実習Ⅱ	3後	3			1	1		2					
	小児看護学実習	3後	2			1	1	1	3					
	母性看護学実習	3後	2			1	1	1	3					
	精神看護学実習	3後	2				1	1	1	1				
	在宅看護学実習	3後	2			1	1	1	2					
	地域包括ケア実習	4前	2			1	1	2	6	11				
	統合実習	4前	2			3	5	6	7	14				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
看護の基礎	基礎看護学概論	1前	1			1								
	生活支援技術論Ⅰ	1後	1			1	2	1	1	3				
	生活支援技術論Ⅱ	1後	1			1	2	1	1	3				
	医療支援技術論Ⅰ	2前	1			1	1	1	1	3				
	医療支援技術論Ⅱ	2後	1			1	1	1	1	3				
	看護方法論	1後	1			2	2	1	1	3				
	看護理論	1前	1			1								
	看護倫理	2後	1			1								
	看護コミュニケーション論	2前	1			3	5	7	6	14				
	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1			2	2	1	1	3				
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			2	1	1	3	5				
	看護の実践Ⅰ（理論と方法）	成人看護学概論	2前	1			1							
		成人看護学方法論Ⅰ（急性期）	2後	1				1		1				
		成人看護学方法論Ⅱ（慢性期）	2後	1			1		1	1				
成人看護学演習		3前	1			1	1	1	2	3				
老年看護学概論		2前	1			1								
老年看護学方法論Ⅰ（医療支援看護）		2後	1			1	1							
老年看護学方法論Ⅱ（生活支援看護）		3前	1			1	1			2				
老年看護学演習		3前	1			1	1			2				
小児看護学概論		2前	1			1								
小児看護学方法論		2後	2				1	1						
小児看護学演習		3前	1			1	1			3				
母性看護学概論		2前	1			1								
母性看護学方法論		2後	2			1		1	1					
母性看護学演習		3前	1			1	1	1	1	3				
リプロダクティブヘルス看護学		2前	1			2	1							
精神看護学概論		2前	1			1	1							
精神看護学方法論		2後	2			1	1	1	1					
精神看護学演習		3前	1			1	1	1	1	1				
地域看護学概論		1後	1			1	1						兼0	
地域健康支援論		2前	1			1	1	1	1				兼1	
在宅看護学概論	2前	1			1	1								
在宅看護学方法論	2後	1			1	1	1	1						
在宅看護学演習	3前	1			1	1	1	1	2					
地域包括ケア概論	1後	1			2	1						兼0		
地域包括ケア方法論	3後	1			2	1	1		5			兼1		
地域包括ケア演習	4前	1			1	3	1		11			兼1		
看護の実践Ⅱ（臨地実習）	成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3後	3			1	1	2	1					
	成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	3後	3			1	1		2					
	老年看護学実習Ⅰ	2前	1			1	2	1	3	13				
	老年看護学実習Ⅱ	3後	3			1	1		2					
	小児看護学実習	3後	2			1	1	1	3					
	母性看護学実習	3後	2			1	1	1	3					
	精神看護学実習	3後	2				1	1	1	1				
	在宅看護学実習	3後	2			1	1	1	2					
	地域包括ケア実習	4前	2			1	1	2	5	11				
	統合実習	4前	2			3	5	6	6	14				

【認可時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	(看護の実践Ⅲ)	クリティカルケア論	3前	1			3	1				兼1
		地域リハビリテーション看護概論	3前	1								
		緩和ケア論	3前	1			1	2	1			
		がん看護	3前	1			1	1	1			
		看護実践能力強化演習	4後	1			1	3	4	7	3	
	看護の統合	東洋文化と看護	4前	1				2				兼1
		看護研究Ⅰ	3前	1			5					
		看護研究Ⅱ	4通	2			5	5	6	6		
		家族看護学	4前	1				2				
		看護管理学概論	4前	1			1					
		国際看護学	4前	1				1	1			
		医療安全論	4前	1			1					
		災害看護学	4前	1				1	1	1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	(看護の実践Ⅲ)	クリティカルケア論	3前	1			3	1				兼1
		地域リハビリテーション看護概論	3前	1								
		緩和ケア論	3前	1			1	2	1			
		がん看護	3前	1			1	1	1			
		看護実践能力強化演習	4後	1			1	3	4	6	3	
	看護の統合	東洋文化と看護	4前	1				2				兼1
		看護研究Ⅰ	3前	1			5					
		看護研究Ⅱ	4通	2			5	5	6	5		
		家族看護学	4前	1				2				
		看護管理学概論	4前	1			1					
		国際看護学	4前	1				1	1			
		医療安全論	4前	1			1					
		災害看護学	4前	1				1	1	1		

- (注)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・鈴木秀樹助教就任辞退の理由により、「基礎ゼミナール」の専任教員配置を「助教7」から「助教6」に変更。
- ・鈴木秀樹助教就任辞退の理由により、「コモンスキル」の専任教員配置を「助教7」から「助教6」に変更。
- ・中垣恒太郎兼担教授就任辞退の理由により、「芸術学A」および「芸術学B」の兼任・兼任教員配置を「兼4」から「兼3」にそれぞれ変更。
- ・鈴木秀樹助教就任辞退及び須佐公子准教授担当科目追加の理由により、「生活支援技術論Ⅰ」の専任教員配置を「准教授1」から「准教授2」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・鈴木秀樹助教就任辞退及び須佐公子准教授担当科目追加の理由により、「生活支援技術論Ⅱ」の専任教員配置を「准教授1」から「准教授2」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・鈴木秀樹助教就任辞退の理由により、「医療支援技術論Ⅰ」の専任教員配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・鈴木秀樹助教就任辞退の理由により、「医療支援技術論Ⅱ」の専任教員配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・鈴木秀樹助教就任辞退及び須佐公子准教授担当科目追加の理由により、「看護方法論」の専任教員配置を「准教授1」から「准教授2」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・鈴木秀樹助教就任辞退の理由により、「看護コミュニケーション論」の専任教員配置を「助教7」から「助教6」に変更。
- ・鈴木秀樹助教就任辞退及び須佐公子准教授担当科目追加の理由により、「基盤看護学実習Ⅰ」の専任教員配置を「准教授1」から「准教授2」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・鈴木秀樹助教就任辞退の理由により、「基盤看護学実習Ⅱ」の専任教員配置を「助教4」から「助教3」に変更。
- ・福島道子兼任講師の就任年度を平成30年4月から平成31年4月に変更し、担当科目を変更した理由により、「地域看護学概論」の兼任教員配置数を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・福島道子兼任講師の就任年度を平成30年4月から平成31年4月に変更し、担当科目を変更した理由により、「地域包括ケア概論」の兼任教員配置数を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・鈴木秀樹助教就任辞退の理由により、「地域包括ケア実習」の専任教員配置を「助教6」から「助教5」に変更。
- ・鈴木秀樹助教就任辞退の理由により、「統合実習」の専任教員配置を「助教6」から「助教5」に変更。
- ・鈴木秀樹助教就任辞退の理由により、「看護実践能力強化演習」の専任教員配置を「助教7」から「助教5」に変更。
- ・鈴木秀樹助教就任辞退の理由により、「看護研究Ⅱ」の専任教員配置を「助教6」から「助教5」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
86 科目	97 科目	0 科目	183 科目	86 科目 [ 0 ]	97 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	183 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{183} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 校地等「その他」… 「校地面積」不算入施設 用地が含まれていた ことによる修正 (30)			
	校舎敷地	66,525.45 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	66,525.45 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	47,531.69 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	47,531.69 m <sup>2</sup>				
	小 計	114,057.14 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	114,057.14 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	<del>161,612.31</del> <del>162,220.71</del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	<del>161,612.31</del> <del>162,220.71</del>				
	合 計	<del>275,669.45</del> <del>276,277.85</del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	<del>275,669.45</del> <del>276,277.85</del>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		115,154.57 m <sup>2</sup> (111,810.57 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	115,154.57 m <sup>2</sup> (111,810.57 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	既設学部・学科との共有を含む		
		113 室	27 室	14 室	17 室 (補助職員 5人)	6 室 (補助職員 4人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		スポーツ・健康科学部 看護学科		25 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む 図書 531,928冊 522,683冊 〔94,084冊〕 〔92,393冊〕 学術雑誌 46,732種 学術雑誌 50,972種 〔43,261種〕 〔47,527種〕 図書の増加は大学全体の 共用分購入点数追加 による (30)  電子ジャーナルは “Hein Online”の収録 タイトル数減少に伴 い、点数を修正。学術 雑誌減少については大 学全体の共用分購入点 数変更に伴う修正 (30)  視聴覚資料の増加は大 学全体の共用分購入点 数追加による (30)  機械・器具点数はリネ ン類細分化やシミュ レーター機材付属品等 の追加により修正 (30)	
	スポーツ・健康科学部 看護学科	536,433 [94,598] <del>527,080</del> [92,905] (534,680 [94,084])	46,770 [43,279] <del>51,041</del> [47,555] (46,765 [43,278])	42,754 [42,731] <del>47,020</del> [46,999] (42,754 [42,731])	18,959 <del>18,856</del> (18,813)	4,952 <del>2,307</del> (4,863)	0 ( 0)		
	計	536,433 [94,598] <del>527,080</del> [92,905] (534,680 [94,084])	46,770 [43,279] <del>51,041</del> [47,555] (46,765 [43,278])	42,754 [42,731] <del>47,020</del> [46,999] (42,754 [42,731])	18,959 <del>18,856</del> (18,813)	4,952 <del>2,307</del> (4,863)	0 ( 0)		
(6) 図 書 館		面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数					
		14,659.66 m <sup>2</sup>	1,759 席	1,750,600					
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				面積…申請時未計上分 を追加修正 (30)		
		<del>12,322.70</del> <del>11,443.20</del> m <sup>2</sup>	野球場、ラグビー場、テニスコート、弓道場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は大学全体。申請者数が見込みより下回ったことによる差額 (30)
		教員 1 人当り研究費等	400 千円	400 千円	図書購入費	19,670千円 <del>19,672千円</del>	12,947千円	0千円	
	共同研究費等	9,000 千円 <del>20,000 千円</del>	20,000 千円	設備購入費	165,439千円 <del>165,394千円</del>	54,053千円	0千円		
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	図書購入費は絶版等に伴う図書差替えによる差額 (30)	
		1,950 千円	1,700 千円	1,700 千円	1,700 千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						設備購入費はシミュレーター機材付属品等の追加により修正 (30)

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 30 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	大東文化大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入定員超過率	開年	設年度	所在地
<学部>	年	人	年次人	人		倍			
文学部									
日本文学科	4	150	—	600	学士 (日本文学)	1.10	昭和37年度	}	
中国文学科	4	70	—	280	学士 (中国文学)	1.04	昭和37年度		
英米文学科	4	130	—	520	学士 (英米文学)	1.11	昭和42年度		
教育学科	4	120	—	480	学士 (教育学)	1.06	昭和47年度		
書道学科	4	60	—	240	学士 (書道学)	1.07	平成12年度		
歴史文化学科	4	100	—	400	学士 (歴史文化学)	1.01	平成30年度		
経済学部									
社会経済学科	4	205	—	820	学士 (経済学)	1.08	昭和37年度	}	(1・2年次) 埼玉県東松山市 岩殿560
現代経済学科	4	165	—	660	学士 (経済学)	1.10	平成13年度		
外国語学部									
中国語学科	4	70	—	280	学士 (中国語学)	1.02	昭和47年度	}	
英語学科	4	230	—	920	学士 (英語学)	1.09	昭和47年度		
日本語学科	4	60	—	240	学士 (日本語学)	1.16	平成5年度		
法学部									
法律学科	4	225	—	900	学士 (法学)	1.06	昭和48年度	}	
政治学科	4	150	—	600	学士 (政治学)	1.08	平成2年度		
国際関係学部									
国際関係学科	4	100	—	400	学士 (国際関係)	1.15	昭和61年度	}	埼玉県東松山市 岩殿560
国際文化学科	4	100	—	400	学士 (国際関係)	1.07	昭和61年度		
経営学部									
経営学科	4	365	—	1,460	学士 (経営学)	1.10	平成12年度	}	(1・2年次) 埼玉県東松山市 岩殿560
企業システム学科	4	—	—	—	学士 (経営学)	—	平成12年度		
環境創造学部									
環境創造学科	4	—	—	—	学士 (環境創造学)	—	平成13年度	}	(3・4年次) 東京都板橋区高島平 1-9-1
スポーツ・健康科学部									
スポーツ科学科	4	125	—	500	学士 (スポーツ科学)	1.14	平成17年度	}	埼玉県東松山市 岩殿560
健康科学科	4	100	—	400	学士 (健康科学)	1.03	平成17年度		
看護学科	4	100	—	400	学士 (看護学)	1.10	平成30年度		



大学の名称	大東文化大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
社会学部										
社会学科	4	200	—	800	学士 (社会学)	1.02	平成30年度	(1・2年次) 埼玉県東松山市 岩殿560 (3・4年次) 東京都板橋区高島平 1-9-1		
<b>&lt;大学院&gt;</b>										
文学研究科										
日本文学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (日本文学)	0.30	昭和39年度	東京都板橋区高島平 1-9-1		
中国学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (中国学)	0.20	昭和39年度			
英文学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (英文学)	0.40	昭和53年度			
書道学専攻 (博士前期課程)	2	7	—	14	修士 (書道学)	1.21	平成15年度			
教育学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (教育学)	0.25	平成20年度			
日本文学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (日本文学)	0.13	昭和47年度			
中国学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (中国学)	0.00	昭和42年度			
書道学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (書道学)	0.44	平成17年度			
経済学研究科										
経済学専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士 (経済学) (公共政策学)	0.20	昭和47年度			
経済学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (経済学)	0.00	昭和53年度			
法学研究科										
法学専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士 (法学)	0.05	昭和52年度			
政治学専攻 (博士前期課程)	2	7	—	14	修士 (政治学) (公共政策学)	0.00	平成6年度			
法学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (法学)	0.00	平成3年度			
政治学専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (政治学)	0.08	平成8年度			
外国語学研究科										
中国言語文化学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (中国言語文化学)	0.60	平成11年度			
英語学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (英語学)	1.00	平成11年度			
日本言語文化学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (日本言語文化学)	0.15	平成11年度			
中国言語文化学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (中国言語文化学)	0.55	平成23年度			
英語学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (英語学)	0.99	平成17年度			
日本言語文化学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (日本言語文化学)	0.44	平成19年度			
アジア地域研究科										
アジア地域研究専攻 (博士前期課程)	2	12	—	24	修士 (アジア地域研究)	0.49	平成11年度	埼玉県東松山市 岩殿560		
アジア地域研究専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (アジア地域研究)	0.00	平成13年度			

大学の名称	大東文化大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年	設年度	所在地
経営学研究科 経営学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士 (経営学)	0.16	平成15年度		東京都板橋区高島平 1-9-1
経営学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (経営学)	0.13	平成15年度		
スポーツ・健康科学 研究科 スポーツ・健康科学 専攻(修士課程)	2	10	—	20	修士 (スポーツ科学) (健康科学)	0.80	平成21年度		埼玉県東松山市 岩殿560
法務研究科 法務専攻 (専門職学位課程)	3	—	—	—	法務博士 (専門職)	—	平成16年度		東京都新宿区 信濃町34番地 JR信濃町ビル

平成27年より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。